

テナント情報や市民向けのお知らせ、 イベントのライブ映像などを放映。



様々なイベントに活用可能な「Gテラス」の付帯設備として導入されたLEDビジョン。

岐阜市・柳ヶ瀬エリアに 新たなランドマーク誕生

2023年3月4日、岐阜県岐阜市の柳ヶ瀬エリアに新たなランドマークとして、35階建ての再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」(高島屋南市街地再開発組合理事長：田宮雅雄)が誕生した。

同ビルは、商業施設(1-2F)、健康・運動施設や子育て支援施設といった公共施設(3-4F)、住宅(5-35F)で構成。「グラスル(GLASSTLE)」の由来は、GLASS(ガラス)、GRASS(緑)、CASTLE(城)を掛け合わせた造語で、それぞれ「GLASS: 清流長良川のようなビルのガラス張りの壁面」「GRASS: 自然豊かな岐阜をイメージさせる施設内の緑」「CASTLE: 岐阜城のように、まちなかにそびえる新たな城(ランドマーク)」という意味が込められている。

また、「柳ヶ瀬グラスル35」前に広がるセントラルパーク「金公園」もリニューアルされ、同ビルを訪れた親子連

れが立ち寄るなど、市民の憩いの場となることが期待されている。

全天候型オープンスペースに LEDビジョン設置

「柳ヶ瀬グラスル35」の1階「Gテラス」には、LEDビジョン「柳ヶ瀬グラスル35ビジョン(仮名)」(セキシン電機社製)を設置。施設内のテナントCMや市民向けのお知らせ、イベントでのコンテンツ放映やライブ映像放映などを行っている(放映時間は9:00~21:00)。

同ビジョンは軽量・薄型設計で、画面サイズはW3,500mm×H2,000mm(158.7インチ)。ピクセルピッチは3.906mm(SMD型)で、輝度は5,000cd/m²(100段階で調整可能)、防水等級は表示面・裏面ともにIP65。LEDパネルはマグネットによる着脱式を採用した。

同ビジョンを運営する(株)Oval Jr.は以下のように語る。

『柳ヶ瀬グラスル35のエントランス壁面に設置したLEDビジョンは、コンサートや展示会、発表会、興行など様々なイベントに利用できるGテラスの付帯設備として導入いたしました。全天候型のオープンスペース(500㎡/イベントスペース370㎡)として賑わい創出の場、居心地のよい交流の場、情報発信の場としてご利用いただけています。システムの運用管理、コンテンツ制作、今後は、オウンド(アード)メディアとの更なる連携と、3DCGを活用したユーザー参加型リアルコンテンツの常設展示に向け、素晴らしい空間づくりの一端を担えればと考えます』。

- デジタルサイネージ運営
(株)Oval Jr.
- 設置工事
(株)三栄社
- 製品製造
セキシン電機(株)

